

技術士 2 次試験に合格して



泉澤 俊彦

(いずみさわ としひこ)

勤務先

株式会社イズム・グリーン

〒070-0026 旭川市東 6 条 4 丁目 1 番 18 号
TEL 0166-23-0440 FAX 0166-23-1434
E-mail toshihiko@izmgr.co.jp

■ 専門：建設部門(道路)

1. 自己紹介

私は 1988 年(昭和 63 年)に旭川市で生まれ、学生時代は野球に明け暮れていました。父が測量・土木設計業を営んでいた影響もあり、大学では土木工学科へ進学。大学卒業後は、現在所属しているイズム・グリーンへ入社し、新卒初日から札幌市の建設コンサルタント会社へ出向、4 年間の修業期間を経て本社へ帰任しました。

現在、入社 15 年目となり、国交省や北海道、旭川市などの委託業務で、管理技術者として道路および河川インフラの整備事業等に携わっております。

家庭では、3 児(長男 9 歳、長女 7 歳、次男 0 歳)の父として日々奮闘しております。小学 4 年の長男は現在、野球少年団で日々精進しつつ、学業では算数や英語の検定に挑戦し、順調に結果を出しています。今回の合格で父親としての面目を立つことができ、本当にホッとしています。

2. 受験動機

私が技術士を目指すキッカケとなったのは、4 年間の札幌への出向期間での職場環境です。出向先の会社には、技術士の先輩方が多数在籍されてました。先輩たちの言動や仕事に対する考え方、顧客への対応力等は、当時の未熟そのものであった私にとって、尊敬・憧れであり、「自分もいつかこのようになりたい」と思うようになりました。

3. 技術士試験について

私は、大学卒業により JABEE 認定を修了していたことから、二次試験からの挑戦となり、初めて受験した平成 27 年から 9 回もの受験を経て、ようやく合格することができました。

初めての受験では、圧倒的に“論文を書く力”が不足しており、全く歯が立たなかった記憶が残っています。以降の受験では、不合格が続いたものの、

自らの知識の蓄積や論文を書く力の向上を感じ、段階を踏んで合格に一步步近づいているなとポジティブに考えていました。

そして 6 度目の挑戦でついに、筆記試験を合格することができました。3 年前の当時は振り返れば、この時すでに、技術士として今後のビジョンを回想するなど、口頭試験に対する考えが甘かったなと感じます。結果として、口頭試験で不合格となりました。この時の絶望感はおそらく一生忘れられないと思います。その後は、受験に対するモチベーションとの闘いもありましたが、悪夢の不合格から 3 度目の挑戦で筆記試験をクリアし、一度失敗した経験を活かし、今回の合格をつかむことができました。

私の試験対策のルーツは、社内での勉強会でした。そこでは、過去問題等より作成した論文を添削していただき、論文の書き方を学びました。また、過年度の出題傾向からの分析・対策や模擬試験など知識を蓄積させていただきました。そして何より、指導者から激励を頂くたびに、試験に向けたモチベーションを維持することができました。

4. 今後の抱負

受験動機にも示した出向期間の先輩たちは、現在進行形で活躍の場を広げておられるようです。また、先日出席させていただいた合格祝賀会では、先輩技術士方の振る舞いに圧倒されてしまいました。

私はまだまだ人生経験も浅く未熟者ですので、今後様々な方々からの刺激を受けながら、挑戦する心を忘れず、技術的・人間的にスキルアップし、これまで自分が抱いていた諸先輩への尊敬の意を、会社の後輩やその他関係者、家族など周囲から受けられる技術者・人間になりたいと思います。

最後に、試験合格にあたりご指導・ご教授いただいた方々に対し、深く御礼申し上げます。